

宇美町における公共交通の目指す将来像・基本方針（案）

宇美町が目指す将来像

将来像：「このまちが、いい。」わたしたちの誇り 宇美	
第7次総合計画の基本目標4	豊かな自然環境と調和した「心地よい暮らし」をうみだすまち
第2期総合戦略の基本目標3	誰もが安心して暮らし、活躍できるまち（地域社会）をつくる
都市計画 MP の都市施設等の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 本町と他都市、町内各地域間を結ぶ広域幹線道路、広域幹線道路を補完し、都市内の移動を支える都市内幹線道路で交通ネットワークを構築 高齢化社会の進展を見据えた地域公共交通網の確保／JR 宇美駅周辺における交通結節機能の向上

宇美町の地域公共交通の将来像

宇美で、誰もが安心して、心地よく暮らせる、地域公共交通

- 「暮らし」を支える公共交通
 - ・高齢者や子育て世帯等のおでかけのしやすさ（駅前及び町内各所への町内移動、福岡市・隣接市町への広域移動）
 - ・小中学生の放課後、休日のおでかけのしやすさ（町内移動）
 - ・高校生の通学の利便性（福岡市・隣接市町への広域移動）
- 「交流」を支える公共交通
 - ・わかりやすく、利用しやすい観光交通

将来の公共交通体系での活動イメージ

	暮らし	交流
広域移動 JR 香椎線 西鉄 天神線	博多・天神・香椎、太宰府、志免、須恵、粕屋へ買物、通院、通学、通勤できる	宇美を訪れやすい
域内移動 西鉄 香椎線 西鉄 交通線 のりーと宇美 タクシー	駅前や町内各地へ気軽に おでかけできる 小中学生も安全に移動できる 自動車でなくても外出できる	まちを巡ることができる

宇美町の地域公共交通の課題

■町民のニーズに対応し、運行効率性の改善に向けて公共交通ネットワークを見直す必要がある

- 路線バスは、少子化や生産年齢層の減少などに伴う需要縮小により、運営が難しい。町の財政負担も増大している。
- JR 香椎線も新型コロナの影響から回復しきれず、輸送人員は減少。
- 福祉巡回バスに代わり、AI オンデマンドバスが運行開始しており、今後も町民の利便性向上に向けてサービス改善が求められる。
- 路線バス、タクシーともに、運転手不足が深刻化しており、現状のサービス水準の維持も困難な状況にある。

■公共交通を利用しやすく、円滑に移動しやすい環境への改善が必要である

- 高齢者の急激な増加が予測されるなか、ひばりが丘等の住宅戸建て団地は、高低差が大きく、坂道が多いため、徒歩や自転車での移動が困難な高齢者が増えてくる。
- JR を利用しない要因として駅までのアクセス環境がある。路線バスや福祉巡回バスには所要時間や便数に対する改善要望がある。駅やバス停周辺の歩行空間について、歩道が狭い等の意見がある。
- JR 利用者からは「駅環境の向上」、路線バス利用者からは「バス待ち環境の向上」などの要望もあがっている。

■公共交通サービスを維持・向上させていくための移動需要の創出、自動車からの転換を推進していく必要がある

- 公共交通を日常的に利用している割合は 2~3割と低い。
- 幹線的な道路の混雑度は 1.0 を超えており、慢性的な渋滞が発生している。道路渋滞は路線バスの定時性や速達性の損失につながる。
- 宇美町の公共交通の今後のあり方に対して、博多・天神方面の交通サービスの充実への意見が多い。

課題解決の アプローチ

デジタル技術の活用
(交通 DX)

低炭素への推進
(交通 GX)

3つの共創
(官民・交通事業者間・他分野)

宇美町における地域公共交通の基本方針

基本方針 1 公共交通体系の利便性と持続性を高める

オンデマンドバスの導入によって充実が図られた公共交通ネットワークを確立させていくために、各交通サービスをそれぞれ利便性を高めていくとともに、一体的な交通サービスとして機能していくよう、磨き上げを図っていく。また、運転手を確保し、安定的なサービス提供を図っていく。

基本方針 2 公共交通の利用環境を高める

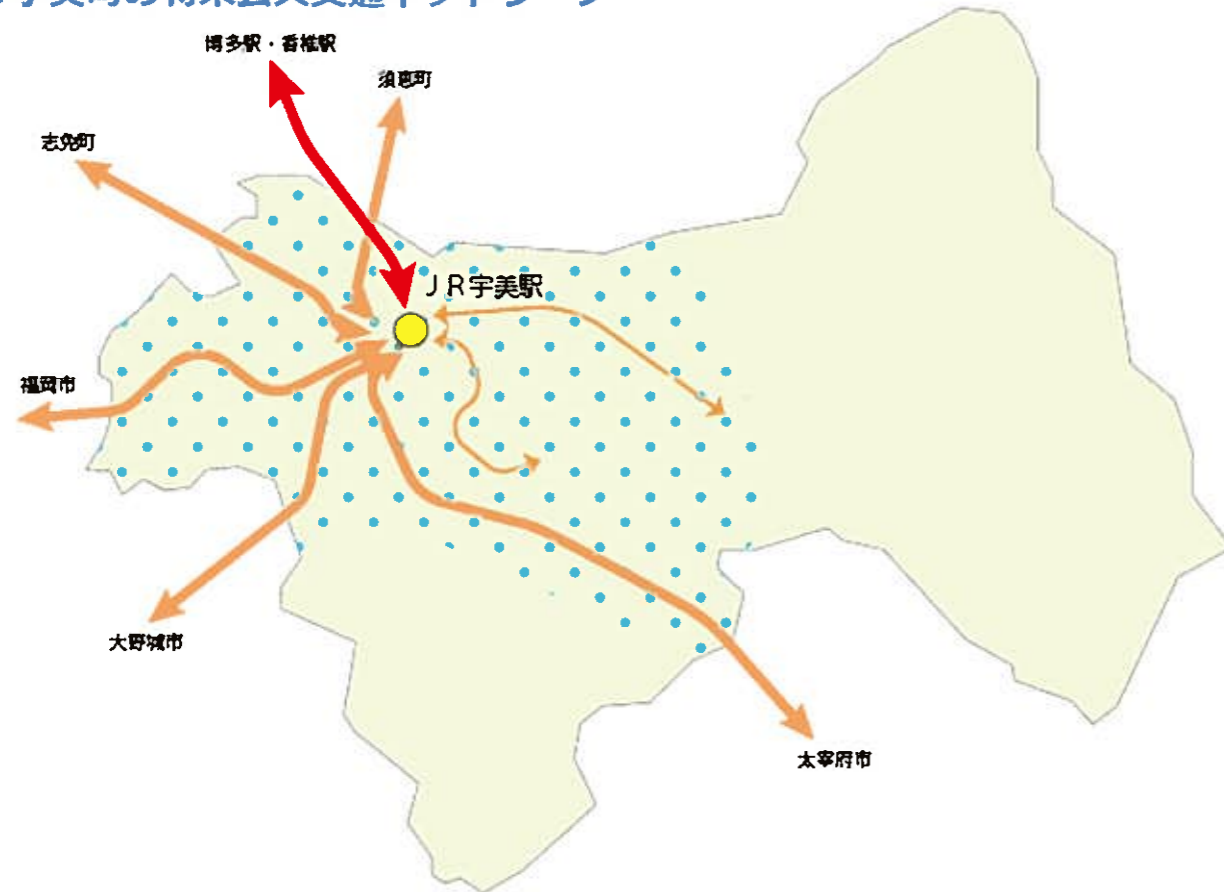
公共交通をさらに利用しやすいものとしていくために、利用のネックとなる待合環境や情報検索、運賃支払いなどの抵抗について、デジタル技術を活用しながら低減を図る。また、交通分野における GX に取り組み、環境負荷の少ない持続可能な公共交通の実現を目指す。さらに、町内の交通渋滞解消とバス・タクシーの速達性の一体的な対応など、町内の交通改善を図る。

基本方針 3 公共交通の積極的な利用の啓発を推進する

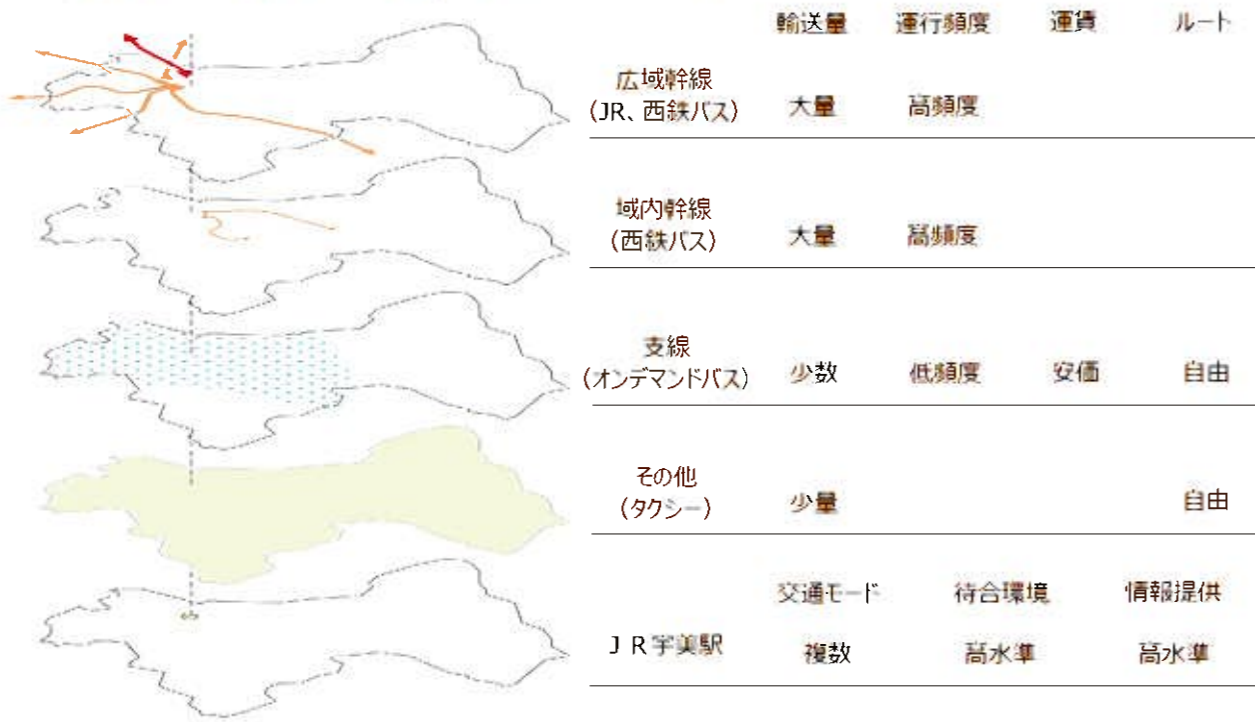
公共交通の維持確保はもとより、自動車の運転ができなくても便利な暮らしが送れるまちとしていくために、官民や分野横断的に連携して、町民の公共交通に対する関心、利用意識の醸成を図る。

宇美町における将来公共交通ネットワーク（案）

■ 宇美町の将来公共交通ネットワーク



■ 交通機関と交通結節点の階層的構造とサービス水準



■ 公共交通機関の役割

区分	交通機関	役割
広域幹線交通	JR 香椎線	博多や香椎方面への町外移動を支える骨格軸として、町民の通勤や通学、買物等の日常生活での移動や、通学や観光などでの来訪者の円滑な移動を担う。
	西鉄バス 幹線系統	博多や天神といった都心部をはじめ、粕屋、須恵、志免、大野城、太宰府など周辺自治体への全方位への移動を支える骨格軸として、町民の通学を中心に日常生活での移動や、通学や観光などでの来訪者の円滑な移動を担う。
域内幹線交通	西鉄バス 支線系統	町内各地から JR 宇美駅及び周辺地域までの移動を支える幹線軸として、駅までのアクセスや買物、通院等の日常生活での移動を担う。
支線交通	AI オンデマンドバス「のーと宇美」	幹線交通を補うサービスとして公共交通ネットワークの支線部分を担い、町民の日常生活における町内の多方向の移動需要に応じて柔軟なサービスを提供する。
その他	タクシー	乗降場所、時間帯を限らず、自由度の高い交通サービスを提供し、町民・来訪者のあらゆる移動ニーズを支える。
	地域内の旅客輸送サービス	医療機関や福祉施設等へのアクセスなど特定の利用者の移動を担う。

■ 交通結節点の役割

交通結節点	役割
JR宇美駅	本町の玄関口であり、町外への交通結節点として、JR 香椎線に対して、西鉄バス各路線、AI オンデマンドバス「のーと宇美」が接続する。また、タクシーや自家用車等での送迎などとの乗り継ぎしやすい環境、交通モード間の乗り継ぎがしやすい待合環境を有する

■ 補助系統に係る事業及び実施主体の概要

位置づけ	運行系統	運行区間 区域	事業区分	運行形態	実施主体	運行主体	国・県の補助活用	対象幹線
広域幹線交通	二日市線 (4-1 系統)	上宇美～西鉄二日市	4条乗合	路線定期運行	西鉄バス二日市(株)	西鉄バス二日市(株)	地域間幹線系統補助	—
支線交通	AI オンデマンドバス「のーと宇美」	宇美町全域 (大字宇美の一部、神武原 4～6 丁目の一部を除く)	4条乗合	区域運行 (ミーティングポイント型)	宇美町	(株)木村タクシー	フィーダー系統補助	二日市線 (4-1 系統)
						合屋タクシー(株)	近未来 MaaS 福岡モデル創出事業	—

宇美町の地域公共交通の課題

■ 町民のニーズに対応し、運行効率性の改善に向けて公共交通ネットワークを見直す必要がある

■ 公共交通を利用しやすく、円滑に移動しやすい環境への改善が必要である

■ 公共交通サービスを維持・向上させていくための移動需要の創出、自動車からの転換を推進していく必要がある

計画の目標	指標	施策体系
目標① 持続的な公共交通体系を確立させる	指標1： JR宇美駅利用者数	施策1：JR+西鉄幹線系統+のりーと+タクシー+地域輸送資源 による公共交通体系の構築 1-1 西鉄バスの宇美駅への乗り入れ 町内の路線バスについて宇美駅への乗り入れを検討する。 1-2 西鉄バス支線系統の運行形態の見直し 西鉄バス宇美線（32、33、34）や四王寺坂線（37、37-1、370）南福岡線（11）などの町内区間において、利用状況に応じた運行形態の見直しを検討する。 1-3 のりーとの継続的なサービス改善 利用者の改善要望等を定期的に把握し、継続的に改善に取り組む。 1-4 宇美駅の駅前広場改修 宇美駅駅前広場について機能拡張等の調査・検討を進める。
	指標2： 路線バス利用者数（上宇美）	
	指標3： のりーと利用者数	施策2：運転手の確保 2-1 運転手募集の広報 交通事業者の広報物を役場やハローワーク等に掲出する。 2-2 セカンドキャリア希望者の公共交通分野への就業促進 定年退職後のセカンドキャリアを希望する町民に向けて運転手や窓口対応など公共交通分野への就業をあっせんする。 2-3 JR香椎線の自動運転化の推進 JR九州が引き続き自動運転化の社会実装に向けて取り組む。
	指標4： タクシー利用者数	
目標② もっと公共交通を使いやすくする	指標5： 公共交通に対する満足度	施策3：駅やバス停の待合環境の改善 3-1 宇美駅のバス待ち環境の向上 スマートバス停の設置や、バスロケーションシステム、のりーと利用方法などを掲出するデジタルサイネージの設置等を検討する。 3-2 主要バス停の環境改善 上宇美バス停や宇美町役場入口バス停など主要バス停における、上屋やベンチの設置などを検討する。
		施策4：JRのサービス改善 4-1 駅の窓口対応の代替サービスの検討 指定席券売機の設置や券売機の機能向上による定期券購入の推進へ向けた設備投資、AIチャットロボットの活用による交通案内などの導入を検討する。
		施策5：交通サービスの一元化 5-1 MaaSの展開 既に運用されているmy routeの周知に加え、九州経済連合会の「九州MaaS」や福岡県のMaaSの取り組みの周知等を行う。
		施策6：駅へのアクセス環境の改善 6-1 パークアンドライドの推進 宇美駅でのパークアンドライドを推進する。
		施策7：環境負荷の軽減 7-1 環境配慮型車両への更新 鉄道、路線バス、のりーと、タクシーにおいてそれぞれの運行事業者が車両更新時に、EVや水素車両、燃料電池車両等環境配慮型車両の導入を検討する。
		施策8：利用啓発 8-1 モビリティマネジメントの推進 町民に、継続的に公共交通に関する情報提供・啓発活動を実施する。 8-2 乗り方教室・アプリ教室の開催 のりーとの利用方法等について教室開催や相談窓口開設を行う。
目標③ 人と環境にやさしい交通体系を構築する	指標 運輸部門における二酸化炭素排出量	施策9：他分野との連携推進 9-1 高齢者の免許返納の推進 警察や庁内関係部署と連携して運転免許返納者への特典の充実などに取り組む。 9-2 福祉、観光、地域と連携した移動需要の創出 高齢者の外出促進・健康増進、観光振興、地域のコミュニティ向上などと連携し、公共交通を利用したおでかけ機会の創出等を企画する。
目標④ 公共交通の利用を促進する	指標 公共交通分担率	